

児童発達支援及び放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和3年2月8日

公表:令和3年2月13日

事業所名 キッズスクールメグシ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	○			小集団活動(動)、個別対応(静)の使い分けをし、有効に活用しています。
	2 職員の配置数は適切である	○			適切に配置しています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		室内はバリアフリーに適応しているが、玄関部分に段差あります。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			日々の振り返りはもちろんだが、同じ目標設定にならないよう常に向上心を持つよう努めています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者様のご意見を取り入れ、対応しております。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			公開しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			外部の評価を参考にし、偏らないよう努めています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			コロナ渦で外部研修は少ないですが、ズームを活用し社内研修を実施しています。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			児童発達支援管理責任者を中心に職員で所内会議を基に作成しています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			利用者様の特性把握や能力に関する情報を得る為、有効活用しています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			教室内チームのほか、他教室とも連携を取り行っています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			PDCAを活用し、固定化しないように工夫しています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			職員同士の連携を密にし、変化をつけて対応しています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			それぞれの活動において、各自の特性や個性に寄り添ったサービスを提供しています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			支援の前には毎日確認を行っています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			支援終了後には記録に残し、職員間での共有を徹底しています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			支援終了後には支援内容を記録し、各自の課題の検証や改善を行っています。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			定期的にモニタリングを実施し、必要時には都度連携を取り計画の見直しを行っています。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			ガイドラインの総則を常に意識し、支援を行っています。	

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		役員の他、管理者または室長が出席しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		連携を取り、適切に行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	現在実績はありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		相互理解するために連携を取り情報共有に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	現在実績はありません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じ、意見交換を行っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	現在コロナ渦の中、外部との接触はありませんが今後取り入れていきたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	現在コロナ渦の中、参加はありませんが今後取り入れていきたいと思います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に意見交換を行っています。
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		困りごとの相談の他、勝てなくても取り組める療育のアドバイスも行っています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		パンフレットやホームページ等で詳細を公開しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者様からのご相談も多く、面談を設け丁寧に対応しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		通年実施しており、コロナ渦が落ち着き次第再開する予定です。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		ご相談があった際には迅速に対応し、適切に対応できるよう職員間でも内容の共有、相談を行っています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		年に数回の会報発行、予定等は毎月の予定表でお伝えしています。
	35	個人情報に十分注意している	○		研修会も行い、個人情報の取り扱いには十分注意しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		利用者の特性に合ったツールを利用し、意思疎通や情報伝達を行っています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	現在コロナ渦の中、実施出来ていませんが今後検討します。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		引き渡し訓練等も実施に、万が一に備えて職員が落ち着いて行動できるよう毎月1回の訓練も行っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月に一度の防災訓練をしています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修会への参加で知識を深め、車内でチームを作り対応しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		様々なケースや時代背景に沿ったガイドラインを策定できるようPDCAを繰り返しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者様からの情報に基づき、個別に対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事例を職員で共有し、環境の改善を行っています。